

2022年 11月 15日

**車載用リチウムイオン電池の正極材及び銅箔調達について****米国レッドウッド社と売買契約を締結****～リサイクル正極材/銅箔を調達し、カーボンフットプリント低減および  
北米でのサプライチェーン確立と現地調達率の向上を目指す～**

パナソニック エナジー株式会社（本社：大阪府守口市、社長：只信一生、以下 当社）は、電池生産におけるカーボンフットプリント低減ならびに北米でのサプライチェーン確立と現地調達率の向上を目的に、この度米国の電池リサイクル企業である Redwood Materials Inc.（本社：ネバダ州カーソン市、CEO：JB Straubel、以下 レッドウッド）と、電気自動車（EV）用リチウムイオン電池の正極材及び銅箔について売買契約を締結しました。レッドウッドのリサイクル正極材は 2025 年からカンザス州デソトの新工場で、リサイクル銅箔は 2024 年からネバダ州スパークスにある Panasonic Energy of North America（PENA）の工場で、それぞれ製造するリチウムイオン電池に使用される予定です。

世界規模で EV シフトが進む中、当社はその需要に対応するため、米国での車載電池の生産拡大に取り組んでいます。正極材は、EV 用リチウムイオン電池の性能と安全性に関わる最も重要な材料で、ニッケル、リチウム、コバルトなどが使用されています。

当社とレッドウッドは 2019 年よりパートナーシップの関係にあり、以来、PENA の工場に出る廃材は、レッドウッドによってリサイクルされています。今回売買契約を締結した正極材と銅箔は、いずれもこのリサイクル材料を用いて製造されるもので、これらの材料を使用することにより、北米での現地調達率の向上ならびに、2030 年度にカーボンフットプリントを 2021 年度比で半減するという当社の目標に近づく大きな一歩となります。

当社は優れた技術と豊富な経験により、今後もリチウムイオン電池業界の成長を牽引し、将来的なゼロエミッションの実現に向けた取り組みを加速していきます。また、ミッションである「幸せの追求と持続可能な環境が矛盾なく調和した社会」の実現に向け、レッドウッドとの強いパートナーシップの構築を図っていきます。

以 上